

ボルグワーナー、電動化技術を商用車へ適用 商用車に関する専門的技術と経験を活用し、 耐久性に優れた幅広い製品ポートフォリオを提供

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、成長を遂げている商用ハイブリッド/電気自動車市場向けに幅広い製品ポートフォリオを提供し、排出ガス規制の適合と燃費目標の達成を支援します。商用ハイブリッド/電気自動車市場は平均して32.9%の年間成長率が見込まれ、2017年の4万9000台から2020年には11万5000台に増加すると予想されています。*

ボルグワーナーの汎用性の高いHVH410およびHVH250電動モーターは、特許取得済みの高電圧ヘアピン(HVH)ステータ巻線技術を搭載し、業界をリードする出力・トルク密度を実現。最大300kW(402HP)の出力、95%を超える高効率を発揮します。HVH410電動モーターは、最大2,000Nmのトルクを発生し、クラス7(車両総重量約12t~15t)およびクラス8(車両総重量約15t超)のハイブリッド/電気アプリケーションに適用されます。またHVH250電動モーターは、最大425Nmのトルクを発生します。

さらに、ボルグワーナーの48Vの高効率モーター/発電機は、優れたシステム効率とエネルギー回収能力で電力需要の増加に対応します。ボルグワーナーの電動コンプレッサー、eBooster[®]は、すでに市場に登場しており、排気量5L未満の小型商用エンジンに活用されています。現在、排気量13Lまでのエンジンに適した、大型タイプも開発中です。ボルグワーナーのeTurbo[™]テクノロジーは、車載バッテリーを再充電するための発電機能により、電動ブースターを一步前進させました。eTurbo[™]は小型および大型商用車エンジン向けに、異なる2つのサイズで開発されています。

また社内およびお客様と共同で、様々な電動ターボ機器を開発中です。その例として、電気出力が可能な有機ランキンサイクル(ORC)エキスパンダー、eTurbocompounding(タービン発電機)、ガスタービン・レンジエクステンダーなどがあり、いずれも商用電気自動車への適用が可能です。ボルグワーナーは、ジョージア州アトランタで開催されたNorth American Commercial Vehicle Show(NACV Show)で、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車に関する幅広いテクノロジーを展示しました。

ボルグワーナーの最高技術責任者であるクリストファー・トーマス(Christopher P. Thomas)は、「商用車向け駆動システムの成長促進要因は変化しつつあります。トラックや輸送車両において、環境への影響と燃費は引き続き重要な課題ですが、現在新たな課題に直面しています。ゼロエミッションゾーンや騒音規制ゾーンを設け、内燃機関搭載車両を制限する都市が増えているためです。当社の最新技術は、大型輸送車両にクリーンなハイブリッド/電気駆動システムという選択肢をもたらすでしょう。」と述べています。

*Knibb, Gormezano and Partners(KGP)による「世界商用車用エンジン、アフタートリートメント、およびトランスミッションに関する年次予測」



© BorgWarner Inc.

ボルグワーナーは、自動車の内燃機関およびハイブリッド/電気自動車向けのクリーンで効率的な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーとして、成長を遂げている商用ハイブリッド/電気自動車市場に幅広い製品ポートフォリオを提供し、排出ガス規制の適合と燃費目標の達成を支援します。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー（NYSE: BWA）は、自動車の内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界17カ国62カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ27,000人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近のForm 10-K年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、小田

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316